

令和6年（2024年）知事年頭所感

大阪府知事 吉村 洋文



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人大阪府栄養士会会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、貴

会におかれましては、日頃から、「食」を通じた府民の健康づくりにご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年春、大阪を今よりも良くしたい、さらに元気にしたい、という思いを胸に、「教育無償化」

「2025年大阪・関西万博の成功」「府市一体の成長戦略」を大きな柱に掲げ、知事として2期目の府政の舵取りをスタートしました。いよいよ2025年大阪・関西万博の開幕まで1年あまり。現在、会場建設費や海外パビリオンの建設の遅れなど課題はありますが、それを乗り越えて開催する意義や効果が万博にはあります。

万博とは、世界中の英知を結集し、地球規模の様々な課題解決に取り組む場です。気候変動や貧困、食糧問題など、世界が直面する課題は多岐にわたります。また、新型コロナの世界的な拡大によって、従来の価値観や行動に大きな変化がもたらされました。コロナ禍を乗り越えたこの時代に、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げる今回の万博は、「いのち」という原点に立ち戻り、未来への希望を世界に示すものです。150か国を超える国々の先端技術やサービス等により、人々の行動変容と、時代を切り拓く新たなイノベーションを巻き起こす。そして、世界の課題解決につなげるとともに、レガシーとして発展させていきます。

あわせて、産学官民一体で「大阪ヘルスケアパビリオン」において、健康医療をはじめ、カーボンニュートラルやデジタル化といった取組を

体現していきます。加えて、空飛ぶクルマや、自動運転EVバスなどの新たなモビリティの実現をめざすとともに、多くの来場者が見込まれることから、地域住民や観光客などの移動手段を確保するため、大阪版ライドシェアの導入に向けて取り組みます。

万博を一過性のものとせず、万博をインパクトに、大阪の成長軌道をさらに高みに引き上げていきます。

大阪の強みを最大限に活かし、ライフサイエンスや次世代エネルギーなど、大阪経済をけん引する産業や、大阪から日本を変えるイノベーションの源泉となるスタートアップの創出に取り組んでいきます。

また、本年6月には、ここ大阪の地で、「ワクワク EXPO with 第19回食育推進全国大会」を開催します。これを機に、大阪府における食育の更なる推進を図るとともに、大阪・関西万博の前年度に「食の都・大阪」の魅力を全国に発信することで、万博の機運醸成につなげていきたいと考えています。

本年も、大阪府栄養士会会員の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますようにお祈りいたします。